

意見1 定住促進について			
分野	自治会長からの意見	市長等からの回答	現況・今後の対応等（関係各課）
その他	<p><b>(1) 旭町2丁目自治会長</b></p> <p>■本厚木駅南口再開発に伴うマンション建設や、イトーヨーカ堂跡地、駐車場のマンション建設により、今後100人以上の児童が厚木第二小学校へ入学することが想定される。その結果、教室の不足が問題になると思われるので、早めに対応してほしい。</p>	<p><b>【野元政策部長】</b></p> <p>■マンション建設などで、今の段階で子ども的人数は約200人の増加を見込んでいます。教育委員会の見解では、既存の学校施設で対応が可能とのことですが、今後、児童の増加も含めて、人口の動向に注視していきます。</p>	<p><b>【教育総務部 教育総務課】</b></p> <p>■現時点では、既存の学校施設での対応が可能と見込んでいますが、今後の人口等の動向に注視しながら、状況把握に努めていきます。</p> <p>《中間報告以降の状況等》</p> <p>■引き続き、人口動向に注視しながら、状況の把握に努めていきます。</p>
	<p><b>(2) 旭町2丁目自治会長</b></p> <p>■厚木第二小学校は、厚木南地区の12自治会の児童と、厚木北地区・南毛利地区・相川地区から通学していて、児童数の割合はほぼ均等である。</p> <p>しかし、厚木北地区のマンション建設が進むと、3年後には厚木第二小学校に通う厚木南地区の児童数の割合が低くなると想定される。</p> <p>厚木第二小学校の児童でありながら、厚木南地区の運動会や地区行事などに参加できないことがあり、今後、ますますこの傾向が強くなると想定される。地域の役員の選出にも影響を及ぼしていることから、学校区と行政区を統一することはできないか。</p>	<p><b>【市長】</b></p> <p>■6月1日現在、厚木第二小学校の全校生徒は858人で、その内厚木南地区が458人で53%、厚木北地区が138人で16%、南毛利地区が111人で13%、相川地区が151人で18%となっています。</p> <p>学区の問題は、厚木第二小学校の児童数が将来的にどれだけ増加するのか、子どもの人口動向を検証したうえで、再編成や統合も含め慎重に検討する必要があります。</p>	<p><b>【教育総務部 教育総務課】</b></p> <p>■学校区と行政区を統一することは、歴史的・文化的な背景や、既にコミュニティが形成されていることなどから、地域住民の皆様の御意見も聞きながら慎重に対応していく必要があると認識しています。</p> <p>《中間報告以降の状況等》</p> <p>■引き続き、学校区と行政区を統一することについて研究していきます。</p> <p><b>【協働安全部 市民協働推進課】</b></p> <p>■昭和36年に自治会制度ができて以来、長い間の歴史があることから、区域を統一することは難しいと考えていますが、教育委員会と連携を図りながら慎重に対応していきます。</p> <p>《中間報告以降の状況等》</p> <p>■教育委員会と連携を取りながら、慎重に判断していきます。</p> <p><b>【社会教育部 社会教育課】</b></p> <p>■公民館は、身近な社会教育施設であるとともに、地域活動やコミュニティづくりの拠点となっており、事業のエリアは、地域で活動している自治会の区域となっています。</p> <p>しかしながら、子どもが対象となる事業においては、区域にかかわらず参加できるよう配慮いただいている地区もあります。</p> <p>未来を担う子どもたちは、より良いコミュニティ（地域社会）の中で、心豊かに健やかに育ち、郷土愛が芽生えるものと考えていますので、今後も御協力いただきたくお願いします。</p> <p>《中間報告以降の状況等》</p> <p>■中間報告以降の変更等はありません。</p>
	<p><b>(3) 旭町2丁目自治会長</b></p> <p>■厚木市全体で65歳以上人口は24.3%であるのに対し、厚木南地区は25.1%、75歳以上人口は厚木市全体で10.4%に対し厚木南地区は12.5%となっている。</p> <p>厚木第二小学校の児童数は増加しても、厚木南地区の児童数は減少し、同時に住民の高齢化が進んでいるということが数字に表れている。</p> <p>地区では、一人暮らしや夫婦のみの高齢者世帯で老々介護をしている人が年々増え、歩行が困難な高齢者は自宅に引きこもるなど、地域とのかかわりが希薄になってきている。</p> <p>市として、高齢化や人口減少への対応はどう考えているのか。</p>	<p><b>【霜島副市長】</b></p> <p>■政策的に若者の定住促進や働く場を誘致するなど、市のまちづくりの方向性を定めた総合計画「あつぎ元気プラン」に位置付けて取り組んでいます。</p> <p><b>【野元政策部長】</b></p> <p>■厚木市も徐々に人口が減少しますが、人口減少よりも、少子高齢化、年齢構成を問題視しています。本来ならば、ピラミッド型が理想ですが、逆三角形・逆ピラミッド型になってしまうことに対して、どう対応していくのかが重要です。</p> <p>市では、人口ビジョン・総合戦略を策定し、合計特殊出生率の上昇や定住促進、特に20歳代の転出抑制や雇用の創出など、人口減少を克服するための取組を展開しており、現在、婚活事業や介護職・看護職への転入、復職等奨励助成金交付事業など、様々な事業を複合的に実施しております。</p>	<p><b>【政策部 企画政策課】</b></p> <p>■厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、人口減少を克服するため取り組んでいきます。</p> <p>《中間報告以降の状況等》</p> <p>■定住促進や雇用の創出に向けて、行政と地域が一体となって取り組んでいきます。</p> <p><b>【政策部 企画政策課】</b></p> <p>■合計特殊出生率の上昇及び定住促進に向けた取組として、市内の若い世代で構成された産学公連携による「地方創生推進プロジェクト」を設置し、同プロジェクトにおいて、あつぎの魅力を発信するための事業や交流の場の創出するための事業を検討・実施しています。</p> <p>また、定住促進に向けた取組としては、今年度から専門職の転入復職等奨励助成金交付事業や市外に住む子育て世帯が、市内に住む親世帯と同居または同居を始める際の費用助成事業の実施をするなど、人口減少を克服するための取組を展開していきます。</p> <p>《中間報告以降の状況等》</p> <p>■引き続き、人口減少に歯止めをかけるため新たな施策を研究していきます。</p>

意見2 自治会活動の活性化について			
分野	自治会長からの意見	市長等からの回答	現況・今後の対応等（関係各課）
自治会活動関連	<p>(1) 旭町2丁目自治会長</p> <p>■近年、自治会から脱会したいという申し出や、自治会・地域福祉推進委員会の行事に参加したくてもできない、世話人や組長を引き受けられない、などといった相談が多く、自治会活動に影響が出ている。 今後、自治会と地域がどのように連携すべきかが、課題になっている。</p>	<p>【松尾協働安全部長】</p> <p>■自治会活動については、役員の高齢化や、若者、ひとり世帯、マンション入居者などの非加入など、どの地域でも同じ問題を抱えています。 役員の担い手については、イベントなどを一緒にやることで、喜びや楽しみを共有してほしいと考えています。 また、西日本豪雨の際も、共助のしくみをいかした救助の例もあるので、いざといった時に地域住民が協力し合う力こそ、自治会の強みであるかと思えます。</p>	<p>【協働安全部 市民協働推進課】</p> <p>■協働安全部長の回答のとおりです。 《中間報告以降の状況等》 ■自治会加入促進については、市自治会連絡協議会に御意見をお伝えしましたので、今後も引き続き、組織部会で検討いただきます。 本市も、課題解決に向けて連携を図っていきます。</p>

意見3 地域の買い物の場について			
分野	自治会長からの意見	市長等からの回答	現況・今後の対応等（関係各課）
商業・観光	<p>(1) 旭町3丁目第1自治会長</p> <p>■駅南口の開発やイトーヨーカ堂跡地に店舗ができることは聞いているが、コンビニエンスストアが減少している。旭町3丁目周辺には、5年前にはコンビニエンスストアが2店舗あったが、現在はすべて撤退してしまった。幸町の方も、厚木神社からソニーまでの間に1店舗もない。ひとり暮らしの高齢者も多く、買物難民が増加することが懸念されている。できればコンビニエンスストアの話があれば、地区に設置のお願いをしてほしい。</p>	<p>【市長】</p> <p>■買い物の不便さを解消する対策として始めたものが、JAと連携した移動販売車のゆめみちゃん号です。市内の場所と時間をスポット的に決めて、現在1台を運行しています。 地域から、コンビニエンスストアを開店してほしいという意見は、店舗側から考えればいい情報だと思うので、機会があれば伝えていきます。</p>	<p>【産業振興部 商業にぎわい課】</p> <p>■中心市街地100ヘクタール以内にある空き店舗に日用品、衣料品を含め、新規出店する者に対して支援を行い、商業の活性化とにぎわいのあるまちづくりを推進しています。 本市としては、イトーヨーカ堂駐車場跡地に、平成31年3月開業を目指した出店計画があるイトーヨーカ堂等の情報を収集していきます。 《中間報告以降の状況等》 ■引き続き、情報等の収集に努めていきます。</p>

意見4 本厚木駅南口ロータリー改装工事について			
分野	自治会長からの意見	市長等からの回答	現況・今後の対応等（関係各課）
まちづくり関連	<p>(1) 旭町1丁目自治会長</p> <p>■本厚木駅南口ロータリーの改修工事により、一般車が駐車できるスペースがなくなり、送迎車両がロータリーに侵入してきて、トラブルになっている様子をたびたび見かける。工事期間中ロータリーに入れないことを、もっと広報してほしい。</p>	<p>【佐藤市長室長】</p> <p>■7月1日発行号広報あつぎで周知しましたが、目に付きにくい場所へ掲載されていました。今後は、様々な媒体を使って周知に力を入れていきます。</p>	<p>【都市整備部 市街地整備課】</p> <p>■本厚木駅南口のロータリーについては、本厚木駅南口地区市街地再開発組合を設立し、組合が改修工事を進めています。 現在、歩行者デッキを設置するため、ロータリーが縮小していることから、バス、タクシーなどの公共交通機関を優先的に誘導し、一般車の進入を御遠慮いただいている状況です。 工事に関する周知については、現地に看板、横断幕を設置するとともに、回覧、ホームページ、7月1日号の広報あつぎを活用し実施しています。 引き続き、工事の進捗に合わせ、様々な媒体を活用しながら、市民の皆様に周知していきます。 《中間報告以降の状況等》 ■現在の周知状況は、市民の皆様に事業を御理解いただくため、市ホームページに工事の進捗状況を公表するなど、情報発信に努めています。また通行止めなどの交通規制に変更が生じる場合は、周辺自治会に対し回覧で周知しています。 引き続き、工事の進捗に合わせ、様々な媒体を活用しながら、市民の皆様に周知していきます。</p>
	<p>(2) 旭町1丁目自治会長</p> <p>■本厚木駅南口では、迎えの車両が周辺にたくさん停車して、朝夕の通勤時間帯は大混雑している。りそな銀行前の道路わきに、迎えの車両が停車していると道が狭くなり危険である。警察に取り締まりをお願いしても、代替の待機所がない。どうにか解決する方法はないのか。</p>	<p>【市長】</p> <p>■工事は11月頃まで今の状態で進み、11月以降は中央から左側の囲いが外され、駅側に近い場所の工事が始まる予定です。 工事期間中は、大変御迷惑をおかけしますが、御協力をお願いします。</p>	<p>【都市整備部 市街地整備課】</p> <p>■駅前広場については、歩行者デッキを設置するため、現在、最も縮小している状況となっています。歩行者デッキは、11月から12月頃までに完成する予定です。 工事周辺には駐車を御遠慮いただく啓発看板等を設置し対応していますが、市民の皆様には、大変御迷惑をおかけしている状況が続いています。 今後も引き続き、仮囲いの範囲を必要最小限とするよう、本厚木駅南口地区市街地再開発組合に指導していきますので、御理解、御協力をお願いします。 《中間報告以降の状況等》 ■現在の状況は、5月に着工した歩行者デッキの設置が完了し、平成31年1月から歩道の拡幅工事を進めていく予定です。</p>

意見5 健康交流のみちについて			
分野	自治会長からの意見	市長等からの回答	現況・今後の対応等（関係各課）
道路・交通関連	<p>(1) 幸町自治会長</p> <p>■自宅近くの健康交流の道を、よくウォーキングで利用するが、近くの住民はあまり利用していない。しっかり整備されていてきれいな道なので、もっと多くの人に健康交流のみちを利用してほしい。</p>	<p>【霜島副市長】</p> <p>■公民館だよりで紹介するなど、地域の魅力を多くの人に知ってもらえるよう発信していきます。</p>	<p>【道路部 道路整備課】</p> <p>■御利用されている遊歩道は、神奈川県が管理している「やすらぎの道」と思われますが、市でも、市内を流れる各河川(中津川、荻野川、小鮎川、恩曾川、玉川)に沿って、市民の皆様の健康と交流を支えるみち「健康・交流のみち」を整備しました。</p> <p>「健康・交流のみち」は、広報あつぎに記事を掲載するなど、情報発信を行ってききましたが、地域資源を生かした各ルートについて、より多くの皆様に活用いただくことが重要と考えています。そこで本年度、パンフレットを作成し、広く「健康・交流のみち」について周知していきます。</p> <p>《中間報告以降の状況等》</p> <p>■パンフレットは、現在、平成31年3月の完成予定で作成を進めています。完成後は、公民館をはじめ観光協会や体育振興会などへの配下を予定しています。</p>

意見6 自治会活動の補助金について			
分野	自治会長からの意見	市長等からの回答	現況・今後の対応等（関係各課）
自治会活動関連	<p>(1) ひばり自治会長</p> <p>■昨年度から、防犯灯がLED化されたことにより、取り換えの手間がなくなったため防犯灯維持管理の分の補助金がなくなった。その結果、自治会活動の年間予算が1割減となっている。この補助金は、自治会の活動費として使用していたため、もう少し予算を増やすことはできないか。</p>	<p>【松尾協働安全部長】</p> <p>■防犯灯をLED化したことで、負担がなくなって良かったと言っただけで自治会もあります。補助金が少なくなって困っているという意見も伺っています。</p> <p>市では、地域づくり、ふるさとづくり、安心安全、ごみ減量化など、用途に合わせた補助金を交付していますので、活用をお願いします。</p>	<p>【協働安全部 市民協働推進課】</p> <p>■協働安全部長の回答のとおりです。</p> <p>《中間報告以降の状況等》</p> <p>■中間報告以降の変更等はありません。</p>

意見7 厚木第二小学校付近のスクールゾーンについて			
分野	自治会長からの意見	市長等からの回答	現況・今後の対応等（関係各課）
道路・交通関連	<p>(1) 旭町5丁目自治会長</p> <p>■厚木第二小学校近くの通学路が、タクシーなどの抜け道として使用されている。子どもたちの通学時間帯である8時30分以前に、スピードを上げて通過しているので、大変危険である。大きな事故が発生する前に、タクシー協会へ、抜け道として利用しないよう要望してほしい。</p>	<p>【市長】</p> <p>■至急担当部署に現地を確認するよう伝えます。</p>	<p>【学校教育部 学務課】</p> <p>■7月13日7時30分頃の登校時間帯に、厚木第二小学校東側の通学路において、関連部署と現地確認を行いました。</p> <p>今後、通学路の安全対策協議会を開催し、対応を検討していきます。</p> <p>《中間報告以降の状況等》</p> <p>■11月1日に、厚木第二小学校で通学路の安全対策協議会を開催しました。通行する車に速度を抑制させるための路面標示が設置可能という結果を受けて、関連部署へ対策を依頼しました。</p> <p>【まちづくり計画部 都市計画課】</p> <p>■7月13日7時30分頃に、関係部署と現地確認をしましたが、交通量そのものが少なく、タクシーの通行が多いという状況は確認できませんでした。</p> <p>抜け道として利用するのは、天候や周辺道路の混雑状況にも因ると考えられますので、日を改めて現地確認し、必要に応じてタクシー事業者に伝えていきます。</p> <p>《中間報告以降の状況等》</p> <p>■7月18日に再度現地確認をした結果、タクシーの通行は確認できませんでしたが、8月にタクシー事業者へ要望の状況について伝えました。</p> <p>【協働安全部 交通安全課】</p> <p>■7月13日7時30分頃に、関係部署と現地確認をするともに、厚木警察署へ同時間帯の見回りを依頼し、実施しました。</p> <p>今後の対策として、厚木警察署に同路線の公開取締りの実施について依頼し、調整しました。</p> <p>《中間報告以降の状況等》</p> <p>■引き続き、厚木警察署に、公開取締りの実施について依頼しました。</p>